



NPO法人ジャパンデンタルミッション

海外活動報告書

場所 ヴァヌアツ共和国 ・ マレクラ島

期間 2011年7月8日～15日

参加メンバー 上段左から 田頭 修平(J)、井口 雄介(J)、吉竹 弘行(D)、遠藤 直子(H)

下段左から 廣井 千寿(H)、森田 朋美(H)、小西 みやこ(J)



活動内容

7月8日(金)

13:30 大阪空港(伊丹)に集合。

手荷物の確認を行い、その後チェックインの手続きを行う。預けた荷物はそのままポートヴィラまで届くように手配出来たので、楽であった。

2:30 に伊丹を出発し、成田経由(トランジットで、空港内で約5時間待機)で、シドニー

へ向かった。

7月9日(土)

6:00 シドニー到着。

トランジットが約12時間あり、空港近くのホテルを借りて、仮眠、休憩をとることが出来たため、長時間のフライトの疲れもここでかなり楽になった。

19:30 ポートヴィラに向けシドニーを出発。

23:30 にポートヴィラ到着、預けた手荷物が着いているか心配だったが、無事に運ばれてきており、ホッとした。その後タクシーでメラネシアンホテルに向かう。

7月10日(日)

6:00 ホテルを出発して空港へ向かう。**7:00** 発の便を予約しており、チェックインをしようとするも、機種変更があり、全員は乗れないとのこと。何とか今日中にノルスープに行きたいので、あらゆる方法を考えたが、出発を一日ずらす以外に手段がなかった。

ローリー氏にも連絡を取り、ノルスープ病院にも明日到着になる旨、伝言をお願いした。エアヴァヌアツは相変わらずである。

仕方なくホテルに戻り、予定の確認とレクチャー内容の打ち合わせを行う。夜、沢田チームと、ローリー氏、ラッセル氏も合流し、夕食を共にした。

7月11日(月)

5:00 万が一に備えて早めにホテルを出発、空港に向かう。今日は何としてもノルスープに行かなければならないので、必死の思いであった。何とか3人は**8:00** 発の便に乗ることが出来た。

9:00 マレクラ島ノルスープに到着。(搭乗の都合で、森田は1人あとから合流。)

JICAの井口さん、高橋さんが出迎えて下さり、そのまま直接レクチャー会場へ向かい、すぐにレクチャーの準備に取り掛かる。

10:00 レクチャー開始。参加者約17名。歯科医学の基本的なこと(解剖学や細菌学)を、日本で患者さんに説明するように解説した後、齲蝕や歯周病のメカニズムを講義した。そして、歯を磨く事で改善されていく口腔内の状態などをまとめたスライドを見てもらい、歯を磨く事の重要性を伝えた。



講義のあと、参加者全員に口腔内を染色液で染め出しを行い、鏡を見ながら磨けていないところを伝え、確認し、正しい使用法、磨き方を説明して、実際に歯ブラシを使って磨いてもらった。

参加されたみなさんは、赤く染まった口腔内を見て、恥ずかしそうではあるが、一生懸命に練習して頂いた。

後半のパートは口腔が全身に果たす役割を中心に解説した。なかでも舌や口唇が、どのような役割をしているかを説明した。また嚥下をスムーズに行い、唾液を増やすことで、誤嚥性肺炎を防げること、しっかりした咀嚼運動は痴呆を防ぐこと等を色々なデータを交えて話した。参加者には少し意外な内容であったようだが、各自自分の家庭に同居する高齢者を考え、熱心に聴いて頂けた。

12:30 レクチャー終了。

昼食後、ゲストハウスに向かう。

今年は、マーケットや、銀行が傍にあり、レクチャー会場もすぐ近くで、とても行動しやすく、快適に過ごせた。

午後、今日をふまえて明日のレクチャーの検討、打ち合わせを行った。そして内容をより臨床的な内容に変更するように決めた。

7月12日（火）

8:00 レクチャー開始。参加者約20名（学校の先生中心）

前日と同じような内容で、口腔と、全身疾患のかかわり。そしてプラークコントロールと咀嚼、誤嚥性肺炎へのつながりなどの講義を行う。実習は前日同様、染色してブラッシングを行った。

そして、軟らかいクッキーを使い、色々な食べ方をしてもらって、歯以外に、食事をするときに舌や口唇の動きや働きの重要性を認識してもらおう。



その後、舌のトレーニングをスライドを見ながら体験してもらった。

レクチャーを終え、舌のトレーニングの反響が大きかったのには正直びっくりしたが、用意して行った甲斐があったと嬉しく思った。

午後から、ウリピブヘカルキ氏に会いに行く。相変わらず元気そうだったので安心した。我々の活動の基盤を作ってくれた彼にはいつも感謝している。

夜、JICAの井口さん、小西さん、田頭さんと一緒に楽しく夕食を取り、日本での再会を約束した。

7月13日（水）

あっという間にもうマレクラ島を発つ朝を迎えた。

片付けに病院へ向かう車中、当初 11:30 発の予定が、10:30 に変更になったらしい、と現地の人から情報を聞いて慌てて空港に向かう。サント経由でポートヴィラに向かう旅程だったが、サント島からポートヴィラへの便が欠航との話を聞く。まあとりあえずサントまで行ってから考えることにした。

最後の最後までお世話になった、JICAの井口さん、田頭さんがノルスープの空港まで見送りに来て下さった。

10:50 サント島着

エアヴァヌアツの職員との話で、ポートヴィラまではチャーター便で移動してもらうとの

事。とりあえずホッとするが、毎度毎度ヴァヌアツはスリルを味わわせてくれるとつくづく感じた。

13:30 ポートヴィラ着

着後メラネシアンホテルへ移動。荷物の整理を行う。またローリー氏に活動内容の報告をして、夕食後早めに就寝。

7月14日（木）

5:30 ホテル発 暗い中ホテルを出発し空港へ向かう。

7:00 ポートヴィラ発

9:30 シドニー着 到着後ホテルへ向かい、チェックインの後、自由時間とした。各自思い思いに過ごした後、反省会を兼ねた夕食会を行った。

7月15日（金）

8:15 シドニー発

成田経由で帰国の途につく。

19:55 伊丹着

解散

今回も色々なハプニングの中、とりあえずレクチャーを行い、無事に帰国できた。

しかし現地での活動に関してはどのように受け止められたか、また今後どのように活用していってもらえるのか、不明な点もある。これから我々がどのような形で、またどのような立場で活動していくのか、考えていかななくてはならないと感じている。